



# ニッセイ欧州株式厳選ファンド

## フルインベストメントコース / リスクコントロールコース

### 設定来の運用状況について



ニッセイアセットマネジメント株式会社

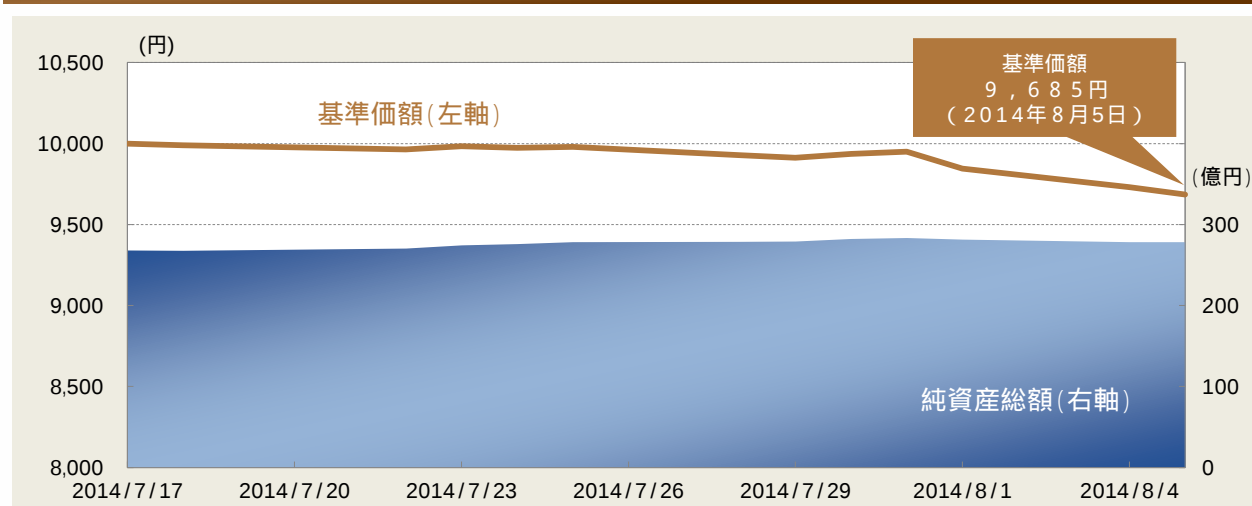
当ファンドは2014年7月17日に設定・運用を開始しております。株式等の組入れが概ね完了いたしましたので、運用状況についてご報告いたします。

なお、足元では地政学リスクの高まり等を受け欧州株式市場は軟調な展開となっておりますが、ユーロ圏購買担当者景気指数(PMI)が市場予想を大きく上回る等、実態経済の回復を示唆する経済統計も確認できます。また、欧州では今後、米国や日本を上回る企業業績の拡大が見込まれています。

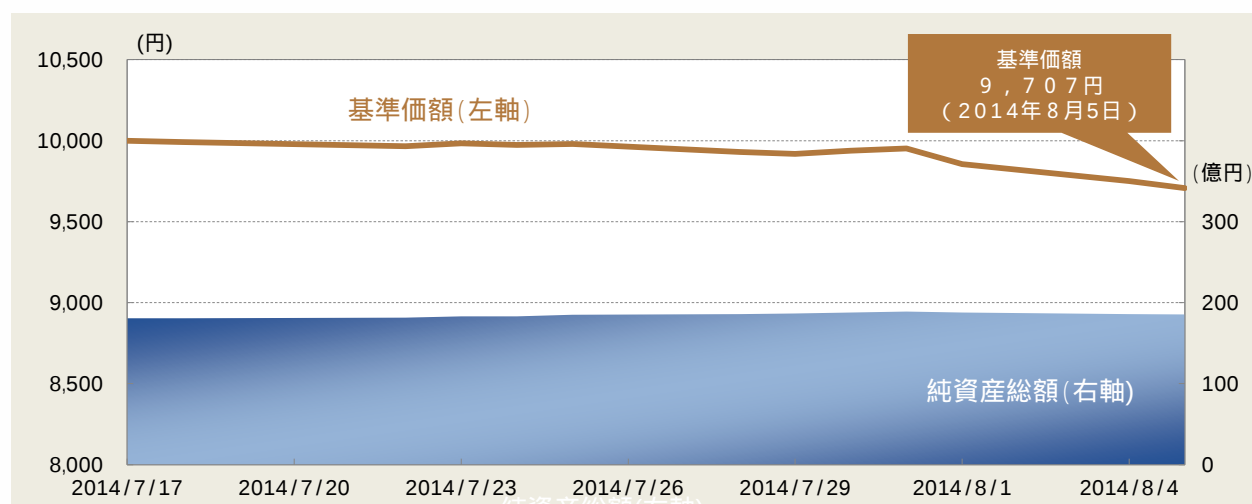
当ファンドでは企業の経営効率に着目、企業規模等を問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄に厳選して投資、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行ってまいりますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 基準価額・純資産総額の推移 (2014年7月17日～2014年8月5日、日次)

##### ニッセイ欧州株式厳選ファンド フルインベストメントコース



##### ニッセイ欧州株式厳選ファンド リスクコントロールコース



上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

Nissay Asset Management

- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

## マザーファンドの状況 (2014年8月1日時点)

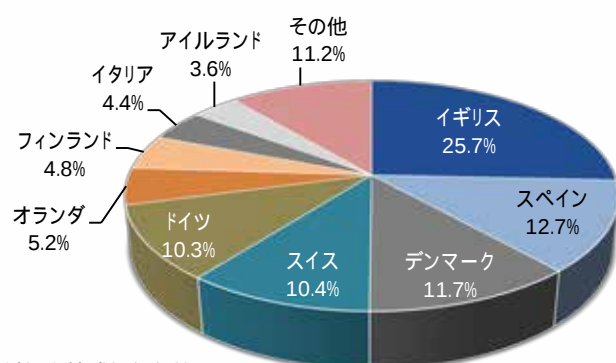
n ファンドは「ファミリーファンド方式」で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用をマザーファンドに行う仕組みです。

### 組入上位10銘柄 (銘柄数: 53)

|    | 銘柄                             | 国      | 業種         | 比率   |
|----|--------------------------------|--------|------------|------|
| 1  | オリオン                           | フィンランド | ヘルスケア      | 3.3% |
| 2  | ノボ・ノルディスク                      | デンマーク  | ヘルスケア      | 3.3% |
| 3  | コロプラスト                         | デンマーク  | ヘルスケア      | 3.1% |
| 4  | ロシュ・ホールディング                    | スイス    | ヘルスケア      | 3.1% |
| 5  | ノボザイムス                         | デンマーク  | 素材         | 3.0% |
| 6  | ユニリーバ                          | オランダ   | 生活必需品      | 2.9% |
| 7  | ディストリブイドラ・インターナショナル・デ・アリメンタシオン | スペイン   | 生活必需品      | 2.7% |
| 8  | バンカ・ジェネラーリ                     | イタリア   | 金融         | 2.6% |
| 9  | ヒューゴ・ボス                        | ドイツ    | 一般消費財・サービス | 2.6% |
| 10 | ブリッック                          | イギリス   | 生活必需品      | 2.6% |

対組入株式評価額比

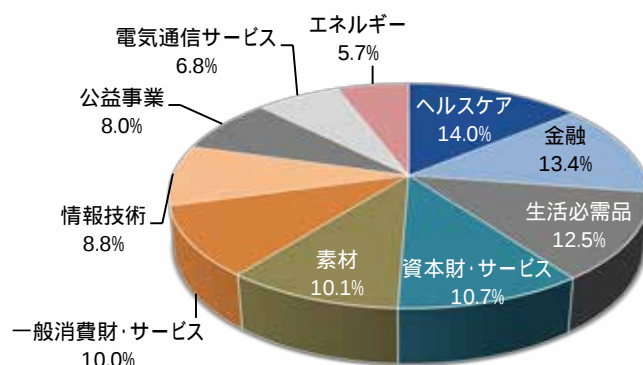
### 国別構成比



対組入株式評価額比

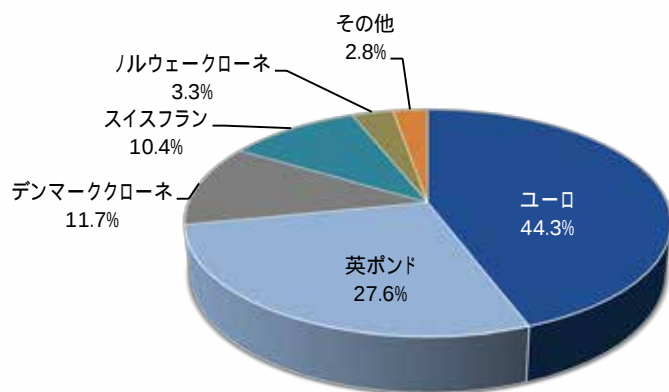
国はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

### 業種別構成比



対組入株式評価額比

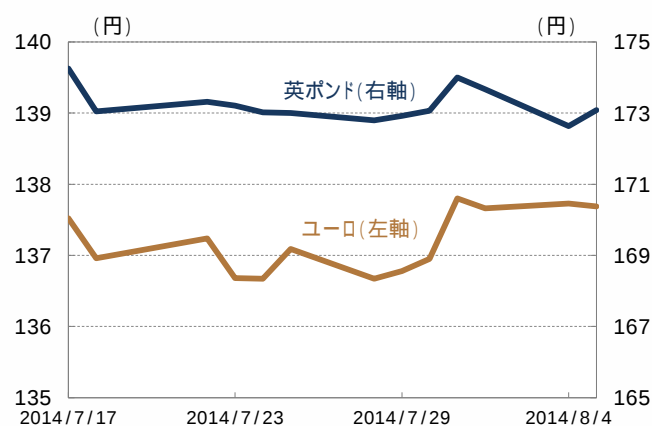
### 通貨別構成比



対組入株式評価額比

四捨五入の関係で、上記グラフの合計が100%にならない場合があります。

### 【ご参考】為替相場(対円レート)の推移



データ期間: 2014年7月17日～2014年8月5日(日次)

出所: ニッセイ基礎研究所のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
対顧客電信売買相場、仲値

## 設定来の運用状況と今後の見通し

### < 設定来のマーケット動向 >

#### ■ 株式市場

当ファンドは2014年7月17日より運用を開始しました。運用開始以降の株式市場の動向を振り返りますと、17日に米国がロシアに追加経済制裁を発表したことに加え、マレーシア航空機がウクライナ東部ドネツクで撃墜されたことや、イスラエル軍の地上部隊がガザ地区へ侵攻を開始するとの報道も伝わり、地政学リスクが大きく高まった状況で運用を開始しました。

一方で、個別企業の4-6月期業績発表も開始され、テクノロジー企業で好業績が相次いだことやメディア関連でM & Aが発表されるなど、個別企業の良好な動向が地政学リスクの悪材料から市場を下支えする展開となりました。その後、7月24日に発表されたユーロ圏購買担当者景気指数(PMI)がサービス業を中心に市場予想を大きく上振れて発表されましたが、7月のユーロ圏消費者信頼感指数が市場予想以上に下落したことやドイツIFO企業景況感指数が3ヵ月連続で下落するなどマクロ経済指標はまだら模様を示す一方で、銀行の好業績が市場の牽引役となりました。

月末にかけては、EU(欧州連合)によるロシアに対する資本規制や武器取引の禁止を含む制裁が発動され、ロシアに対するリスクが更に懸念されるとともに、個別企業でもウクライナ・ロシア情勢の緊迫が影を落とすかたちで悪影響が及んでいることがいくつか明らかとなりました。また、7月31日にアルゼンチンが選択的デフォルトに陥るなど、悪材料が重なったことで株式市場は下落基調に転じました。

#### ■ 為替市場

為替市場では、地政学リスクの高まりからドルや円が特に選好される状況でしたが、強い米国の4-6月期GDP統計から米国の金利が上昇し、ドルが全面高となりました。ユーロやポンドなど対欧州通貨では、円はほぼ横ばいの推移となっています。

### < 設定来の運用状況 >

当ファンドでは企業の経営効率に着目し、企業規模等を問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄を中心に選定し、マーケットの状況と流動性を勘案しながら株式の組入れを徐々に行ってまいりましたが、概ねポートフォリオの構築が完了いたしました。

2014年8月5日時点の基準価額は上記のような市場環境の中で、フルインベストメントコースで9,685円、リスクコントロールコースで9,707円と設定時に比べ下落しています。国別では組入比率が最も大きいイギリスが、業種別では生活必需品が大きな下落要因になっています。生活必需品は、グローバルで展開する企業が多く、これまでのユーロ高が予想以上に業績への重石となっていたことが明らかとなり、株価が弱含みしました。

### < 今後の見通し >

ウクライナ・ロシア情勢が依然として緊迫していることや、ガザ地区での戦闘が激化していることなど、地政学リスクが世界の株式市場にとって引き続き不安材料となっているものの、世界経済に与える影響はこれまでのところ限定的です。

今後は、米国経済が力強い回復基調にあることや欧州中央銀行(ECB)による追加金融緩和策が今後発現してくることが期待されること、企業間によって格差が大きい状況ながらも企業業績は景気回復の追い風を受け米国や日本を上回る高い伸びが見込まれることなどから、欧州の株式市場は魅力的であると判断しています。

ただし、夏季の市場参加者が少なくなってくる期間に入ってきており、一時的な地政学リスクの高まりによる株式市場の想定以上の下落には注意を払わなければいけないと判断しており、株式市場の一層の下落が懸念される場合には、リスクコントロールコースでは打診的に先物を売建て、実質的な株式の組入れ比率を引下げることも検討しています。

なお、個別銘柄では、企業の経営効率に着目、中長期的に利益成長が期待できる企業を選別し、企業規模等を問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄に厳選して投資を行ってまいります。

## ファンドの特色

欧州各国の株式の中から、株価上昇が期待される銘柄に厳選して投資を行います。

「フルインベストメントコース」と「リスクコントロールコース」、2つのコースから選択いただけます。

## 投資リスク

ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株式投資リスク          | 株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 為替変動リスク          | 原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| カントリーリスク         | 外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 流動性リスク           | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| リスクコントロールに関するリスク | <p>リスクコントロールコース</p> <p>株式市場が下落すると判断する場合、ファンドは実質的な株式の組入比率を引き下げることで、基準価額の下落リスクの軽減をめざす運用を行います。このため、以下のリスクがあります。</p> <p>市場が予期しない値動きをした場合等には、当運用が効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できない場合、あるいは株式市場の上昇に追従できない場合があります。</p> <p>当運用では主に株価指数先物取引を利用しますが、ファンドの組入株式と株価指数先物の価格変動率は一致するものではありません。このため、株式の実質組入比率を引き下げるため株価指数先物売り建てている際には、組入株式と株価指数先物の値動きの差がファンドの収益の源泉となる場合がある一方、損失となりファンドの資産価値が減少する要因となる場合があります。</p> |

- ❗ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ❗ 「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」もご確認ください。

### 分配金に関する留意事項

- ❑ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ❑ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ❑ 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 手続・手数料等

## お申込みメモ

|                 |                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入単位            | 販売会社が定める単位とします。                                                                                                                                                                                                       |
| 購入価額            | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。                                                                                                                                                                                                |
| 換金価額            | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。                                                                                                                                                                                                |
| 換金代金            | 換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。                                                                                                                                                                                    |
| 申込締切時間          | 原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。                                                                                                                                                                           |
| 申込不可日           | ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチング(乗換え)の申込みの受付を行いません。                                                                                                                                                     |
| スイッチング<br>(乗換え) | 「フルインベストメントコース」と「リスクコントロールコース」との間でスイッチング(乗換え)を行うことができます。スイッチング(乗換え)の際には、換金時と同様に税金および販売会社が定める購入時手数料・税金がかかります。販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチング(乗換え)の取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。                           |
| 信託期間            | 平成26年7月17日(木)から平成31年7月22日(月)まで                                                                                                                                                                                        |
| 繰上償還            | 委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。                                                                                                                                                                  |
| 決算日             | 1・7月の各20日(該当日が休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は、平成27年1月20日とします。                                                                                                                                                                     |
| 収益分配            | 年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。                                                                                                                                                                                        |
| 課税関係            | 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問合せください。 |

**1** ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

## ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |                                                                                                                         |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料<br>(1万口当り)   | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とし、ご購入時にご負担いただきます。<br>料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |
| 信託財産留保額             | ありません。                                                                                                                  |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                                                                                                                         |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | 毎日、ファンドの純資産総額に <b>年率1.836%(税抜1.7%)</b> をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。                                                         |
| 監査費用                | 毎日、ファンドの純資産総額に年率0.0432%(税抜0.04%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。                                                             |
| その他の費用・<br>手数料      | 組入有望証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は、投資者(受益者)の保有期間中、その都度ファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。    |

**1** 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。なお、「ファンドの費用」に記載の消費税等相当額を付加した各種料率は、消費税率に応じて変更となる場合があります。

**1** 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

| ファンドに関するお問合せ先                                                                                                                         | お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ニッセイアセットマネジメント株式会社<br>コールセンター: 0120-762-506(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日除く)<br>ホームページ: <a href="http://www.nam.co.jp/">http://www.nam.co.jp/</a> | <br>大和証券株式会社<br>金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第108号<br>加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会<br>一般社団法人金融先物取引業協会<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 委託会社【ファンドの運用の指図を行います】                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                             |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号<br>加入協会: 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会                                              |                                                                                                                                                                                                             |
| 受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |